御所櫻

梅

松

初編

録

上

仁顔美人図会

へ13
3721
1

門へ13
3721
1

御所櫻梅松録

初編 上の巻

鶴亭秀賀作
梅蝶楼國貞画
幸西和春
彫板

錦耕堂 蔵梓

御所櫻梅松録初編叙

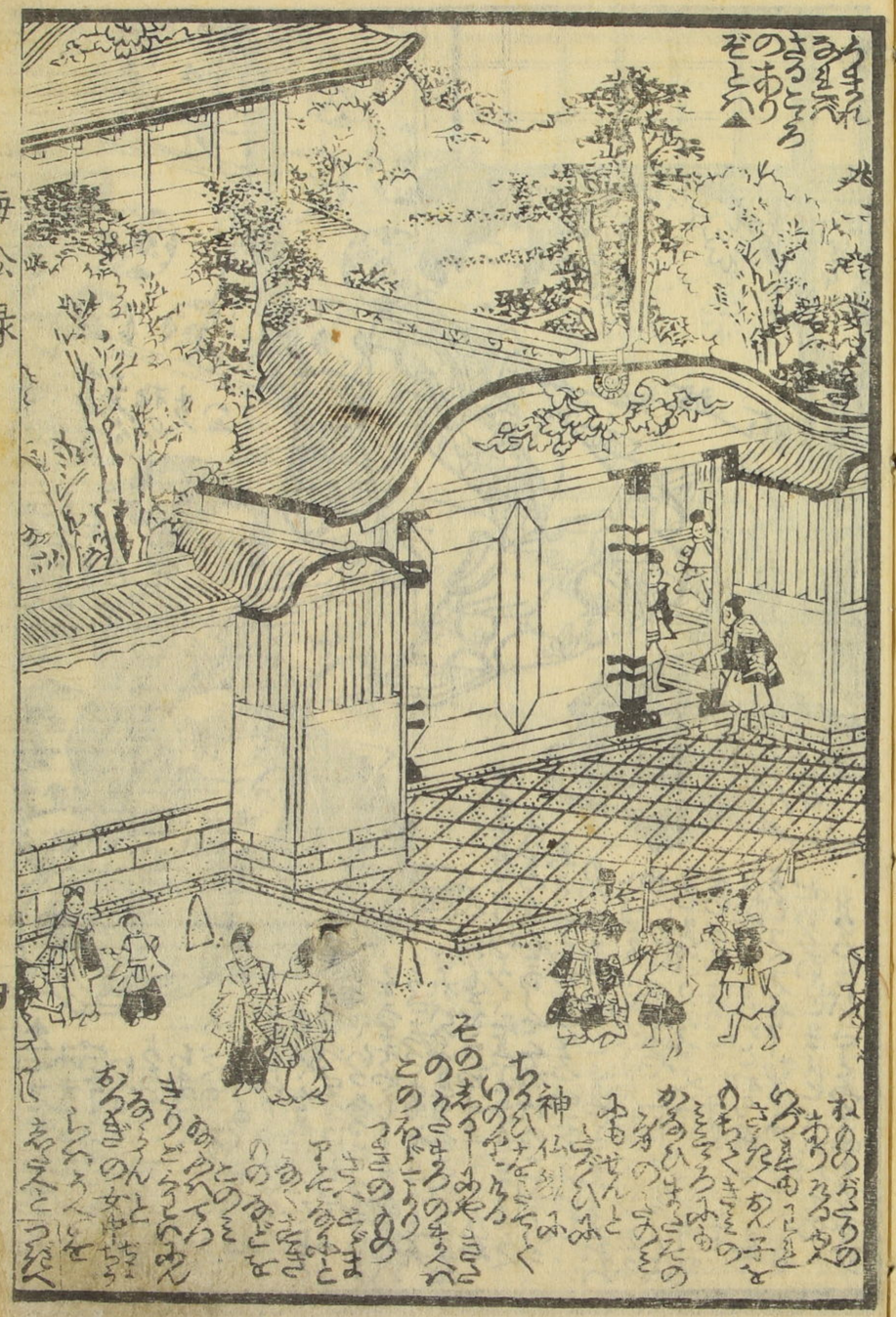
粉々然大庚嶺の梅ハ霞より薫り。娟々然金谷園の櫻ハ風より白ふ。色香共に美なれど中にも花の魁なるを見立て綴り賦せしより梅松櫻を兄弟より愛樹を其侭名ゆゑ借初の果敢狂言綺語ゆゑ。讃佛乗の教ふ叶ハと有バ僕も片詫ふ野夫鶯の啼習ふホウ法華經の不文言ゼ五日ハ御縁日夫より想い札の上ふ恐々惶き所為みぐら。彼菅神の御代を今様ぶりふ書做セ紙筑紫の邊土迄飛梅のごとく趣向と西笑ひる。宰府ゑ架ー太鼓橋ドンく御買上御一覧を願ふと爾云。

萬延二辛酉孟春發市　鶴亭秀賀記

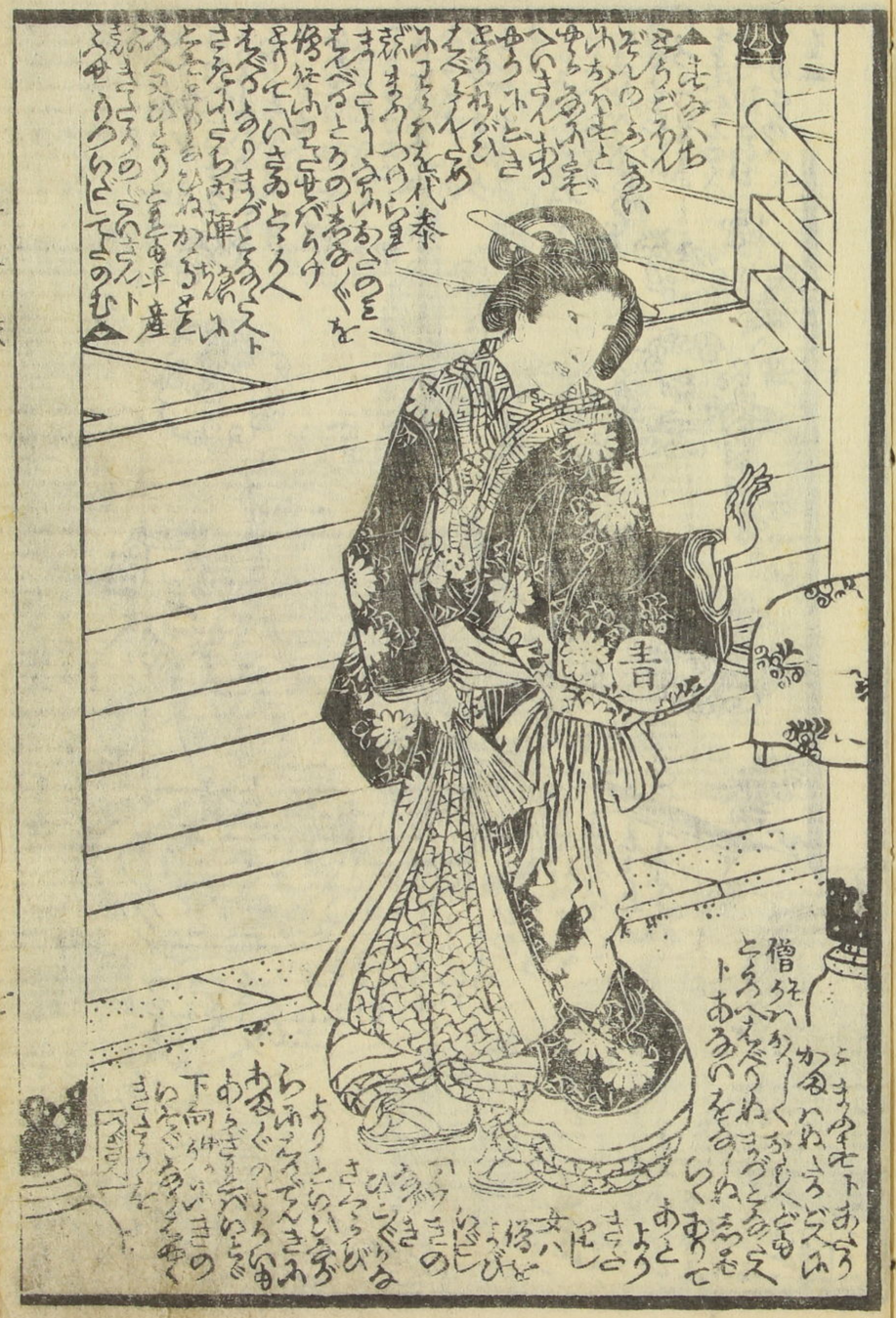
是善卿の北の方松の方
是善卿の愛妾呉竹
参議従三位
菅原是善卿

夫人
松の前の侍女
青葉

呉竹の侍女
小次郎



松



梅松鏡
松

秀賀作 國貞画

三の巻へ

口中御藥 固齦散 大包代百銅 小包代三十銅

一ぬかみを 一うきを 一うみ血 切能 一血いづる 一さびきれ

○用ひやうのあらましくわしくは

清浄精製白妙 一包代 卅二銅

粉ハいろをとる事なく方更もぬけぬ所へ用ゆるごとし

寢小便大奇藥 一包代 三百銅

いろをとる事久しく病症ものの大人小児男女とも一色にて治る妙方あり

無病長壽養生手引草 全二冊 京山翁著 廣重画

美玉百人一首 中本形 全一冊

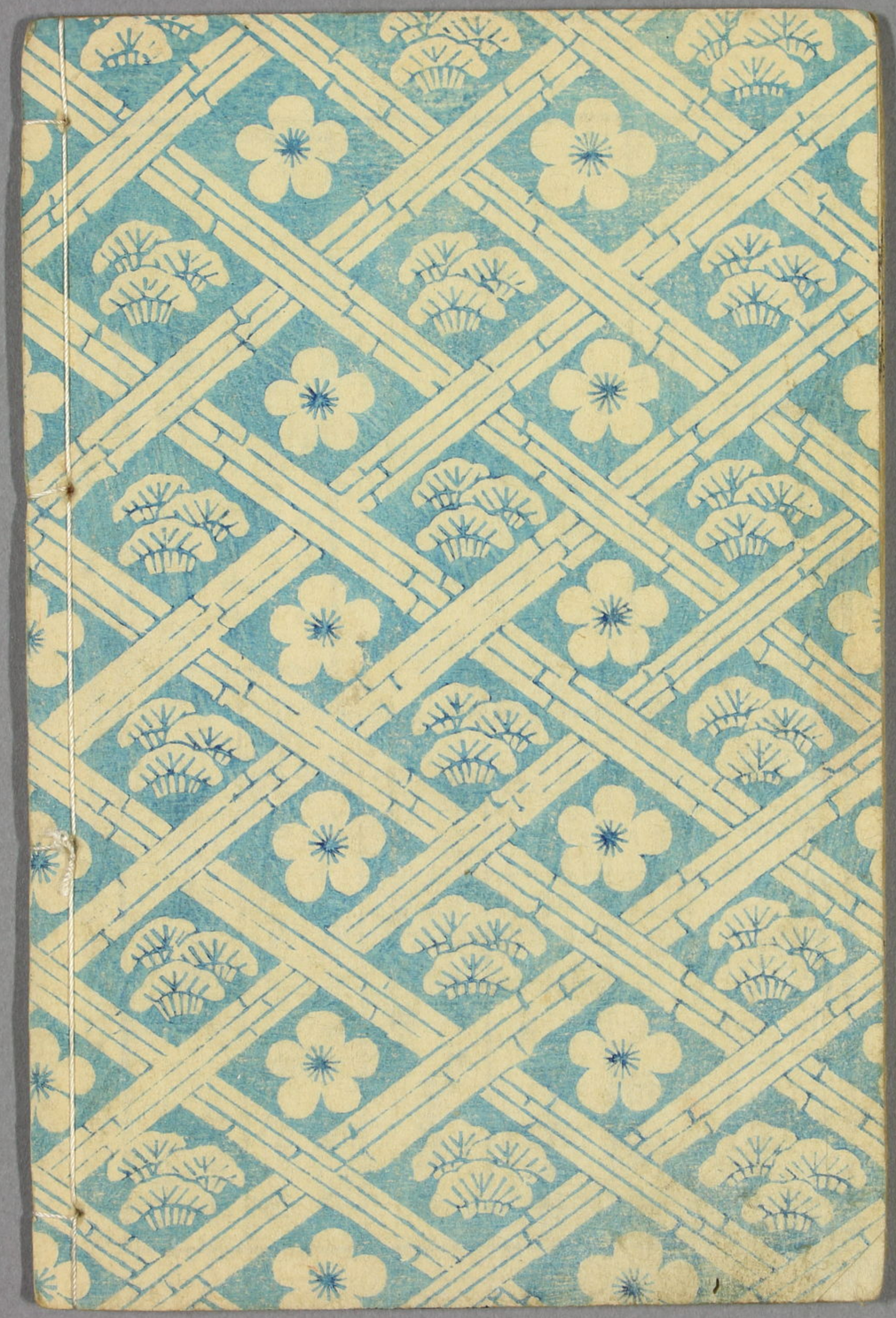
紅梅百人一首 半紙本 全一冊

雛鶴笹湯壽 紅摺大本

女中用文玉手箱 中本形 京山翁著

敵討白石噺 全二冊

伊賀越敵討物語 全二冊 芳虎画録

頼三升豊我神垣 三編 種清綴 讀切國貞画

新板端唄大津繪節度 川柳点地口画手本類數品